

桜 竹 梅

平成25年 秋号



発行所 医療法人 仁栄会
〒780-0066
高知県高知市比島町4丁目6番22号
TEL 088-823-2285
FAX 088-824-2363
発行者 島津 栄一
ホームページ
<http://www.shimazuhp.jp/>



ご挨拶

理事長 島津 栄一



❀ 東南海地震に対する仁栄会の取り組み ❀

平成23年3月11日に起こった東日本大震災を教訓に、国は平成24年3月東海地震、東南海地震に対する予測を大幅に改定しました。高知県においても黒潮町では津波が26mに達すると予想し、平成24年12月高知県南海地震被害想定結果を発表し、地域ごとの津波の高さ、到達時間などを詳細に示しました。

医療法人仁栄会においてもこのような地震から関連施設や患者様を守り、安全な医療・透析を維持するためには、施設及び機能のマニュアルをどのように変えるのかとの検討を始めました。

昭和48年に建てた鉄筋コンクリート3階建ての島津病院が震度6～7の揺れで倒れるなど大きく破損することはないですが、配管や電線などが切断や天井が落ちるなど大きなダメージを受ける可能性があります。

建物については手狭にもなっているので新築することに決めましたが、現在の病院用地では狭いので平成23年より周囲の土地の買収に着手しました。

道路を隔てた北側に約180坪の土地をすでに取得していましたので、ここに管理棟を建て、

隣の歯科医師会館跡地（約400坪）を賃貸契約し、駐車場として利用し、病院建築中には仮病棟を建築することにしました。

次いで南側の土地400坪を購入し、本館用敷地を約900坪にすることができました。設計事務所の話ではもう少し広い土地があれば1棟で建て替えできるとのことでしたが、仕方なく三階建の管理棟は道を隔てた北側に建て、3階で本館と道路上に橋をかけて渡るように設計しました。この件では高知市の大変なご協力によりやっと橋を架けることが可能になり、心から感謝しています。

管理棟（約290坪）は今年9月に着工し、来年4月に竣工する予定です。

本館は6階建てで、総面積1,760坪、免震構造にします。配管などはすべてフレキシブルジョイントとして揺れに対応できる建物になります。

着工は来年7月頃ですべての竣工は平成28年9月を予定しています。設計図は完成し、建築確認申請中です。

関連施設では幡多病院（昭和53年建築）・島津クリニック（昭和47年建築）は鉄筋コンク

リート造り、快聖クリニック（平成15年建築）、島津クリニック比島（平成19年建築）は鉄骨造で現在の耐震構造になっています。すべてが倒壊することはありません。

次に津波に対する対応ですが、高知県は比島町4丁目では津波の高さ1～2mで到達時間は約60分、下地地区にある排水装置が破壊した場合はその後1か月位水が停滞すると予想しています。現在の島津病院駐車場は海拔1.4m、島津クリニック比島は海拔3m、久万川南堤防が4.5mその下の道路の高さが2.7mです。

したがって島津病院駐車場は津波に浸かりますが、島津クリニック比島は浸かりません。新築病院駐車場の高さを2.8mに設定しました。これで病院の浸水に対してクリアできました。

四万十市は津波の影響は河川を遡上してくるだけで、堤防が破壊されない限り津波による被害はないため幡多病院は浸水の危険は少ないです。

快聖クリニックは津波が届かない鴨部地区にあり、心配はありません。

問題は須崎の島津クリニックです。古市町は海拔7mの高さで須崎市街地としては最も高い場所にありますが、須崎市役所は5～10mの津波を予測しています。もし最大の10mの津波が来ても3～5m浸水で、3階の病室まで浸水することはないと思います。

次に津波後の長期浸水の問題です。高知市は下水処理場が長期に水没する下地地区にあり、1か月あまりは下水処理場が使えず、下水機能が麻痺します。したがって高知市全域でトイレが使えないことになります。高知市も大きな土管を埋設したりして対処はしているようですが、その間長期のし尿の処理はどうすればいいのか心配です。現在は下水道施設のある市町の合併処理槽の利用は許可になりませんが考えてみるべき問題だと思います。

須崎の島津クリニック、快聖クリニック、

島津クリニック比島には合併処理槽があります。島津病院も新設する予定です。

次に life line についてですが、過去の震災では電気は4日ほどで配電されていますが、水道管の復旧には約1～3か月かかるようです。

透析施設のある病院は十分な電気を供給できる発電機を置いています。停電の4日間発電するには十分な重油の備蓄が必要です。各施設で透析を自家発電で賄い、その消費量を目安に4日間以上を備蓄しています。

透析を行っている病院では特に水の確保は重要です。仁栄会すべての施設で井戸を掘りました。快聖クリニックはすでにきれいな地下水を透析で使用しています。幡多病院と島津クリニック比島は良い水が出て透析に使用できますが、島津病院と須崎の島津クリニックは塩分の濃い水で使用できませんでした。

現在、ある会社に調査を依頼し、島津病院では地下250m～300mで綺麗な水があることが分かり、掘削も依頼しました。須崎についても検討中です。

医薬品、透析材料、食糧ですが、比島町2丁目に海拔5mの土地500坪の駐車場があり、ここに非常用資材すべての備蓄基地にしたいと思っています。

このように当院は日頃から、防災訓練を積み、関連する資料を集め検討するなど安全で安心のできる医療の提供に取り組んでいます。病院を新築することにより安全で高度な医療を提供することができるものと信じています。



第58回日本透析医学会学術集会に参加して

臨床工学科 小松 晋也

平成25年6月21日～23日に福岡県で開催された第58回日本透析医学会学術集会に透析室の先輩である臨床工学技士の松田主任、森さん、國廣さんと一緒に参加させていただきました。前日の20日に松田主任の車に搭乗させていただき福岡を目指しましたが、雨天のために高速道路が通行止めとなり、一般道を通って行くことになりました。一般道だったせいか、道中で私は車酔いをおこして3人には本当にご迷惑おかけしました。通行止めによる渋滞など不運も重なってしまいましたが、午前7時と早めに出発したこともあり、午後5時頃には福岡に着くことができました。



【演題発表中の森さん】

21日と22日には森さん（ステラケアの洗浄効果）と松田主任（生体電気インピーダンス法によるDW設定指標）がそれぞれ発表を控えており、特に森さんはこちらに緊張が伝わってくるくらいかなり緊張をされていました。発表当日は特に緊張されていたそうですが、いざ壇上に立てば緊張していた事など微塵も感じさせない堂々とした態度で発表されていました。松田主任もやはり発表当日になると緊張が感じられましたが、発表に対する質問の嵐にも難なく返答していき、國廣さんも感心していました。森さんも発表後には緊張も完全に溶けていつもの元気な森さんに戻っていたので安心しました。

演題発表以外にも各メーカーによる展示ブースも活気があり、お祭りのような印象を受けました。右図の写真は展示ブースの傍らでポスター発表を行っている様子です。ここは特に人だかりがかなり激しく、演題を聞きに行くのも一苦労でした。



【各企業による展示ブース】



【ポスター演題発表】

また、学会の後の夕食では仕事に対することやプライベートなことまでいろいろな話を聞くことができ、島津病院に就職させてもらってからまだ日の浅い私には非常に暖かく貴重な経験をさせていただきました。

全国規模の学会に行くこと自体初めての経験だったので、人の多さや活気にも圧倒されました。技士としての知識も技術も不十分な自分にとっては正直場違いのような感じがしていますが、今回このような学会に参加させていただいたことで自分も臨床工学技士として、島津病院にとっても患者さんにとっても役立てるような人になりたいとより強く思うようになりました。自分が発表させてもらえる機会があるときにもこの貴重な経験を活かせるよう頑張っていきたいと思います。

セカンドライフ

— Second Life —

「転ばぬ先の杖 ～Dr.モリの健康講話」

—第七回 がん 生活習慣見直そう— 高知大学名誉教授 森 惟明

がんが日本人の死因の第1位を占めるのは周知のことです。最近の研究で、この病気が遺伝的な素因のみによって発病するのではなく、生まれてから後の生活習慣も関与するということが分かってきました。

日本人に多いがんを部位別に見ると、最近では環境衛生の改善などによって胃がんや子宮頸がんが徐々に減ってきました。代わって肺がんや大腸がん、女性では乳がん、男性では前立腺がんなどが増えてきています。

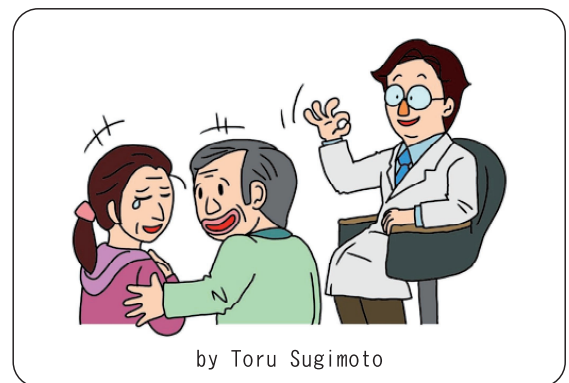
ヒトは、さまざまな発がん性物質にさらされています。発がん性物質によって、細胞中の遺伝子に傷がつきます。通常なら体の防衛機構が働き、傷は修復されます。しかし、傷ついた遺伝子にがん発生促進物質が作用すると、がんが発生すると考えられています。高齢になるほど、遺伝子が突然変異を起こす頻度が高くなり、がんが多くなります。

がんが発病する過程で、遺伝子レベルではp53遺伝子が抑制遺伝子として働きます。細胞レベルでは、免疫細胞であるマクロファージ(白血球の一種)とナチュラルキラー細胞(NK細胞)ががん細胞を攻撃することによって、発がんを防止しているといわれています。

発がんには後天的因子として生活習慣が大きく関与していることが判明しました。がんの8割は、生活習慣を変えることによって予防できるともいわれています。

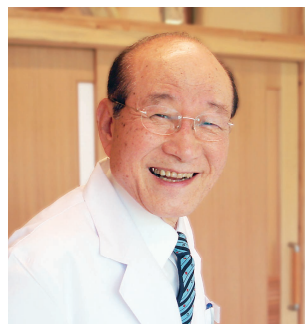
生活習慣改善を目的として国立がんセンターが提唱した8項目は、日常生活での具体的な注意点として大切です。

- 1 禁煙。
- 2 適度な飲酒。
- 3 野菜・果物を少なくとも1日400グラム取る。
- 4 塩蔵食品・塩分の摂取は最小限に。
- 5 定期的な運動の継続。
- 6 成人期での体重を維持(太り過ぎない、痩せ過ぎない)。
- 7 熱い飲食物は最小限に。
- 8 肝炎ウイルス感染の有無を知り、治療や予防の措置を取る。



多くのがんは、症状が出てから治療を始めたのでは、治癒できない状態にまで進行していることが多いです。早く見つけ、早く治療を開始することで効果が得られやすくなります。早期だと、がん細胞の浸潤(周辺の組織に侵入し、広がっていくこと)や転移は少ないのです。

検診は正しい知識を持ち、利益と不利益を理解した上で受けることが大切です。年に1度の頻度で良いと思います。「精密検査が必要」と言われたら、必ず受けましょう。



URL <http://morikoreaki.sakura.ne.jp>

「中高年に多い25の病気を見逃さないための健康評価ハンドブック」

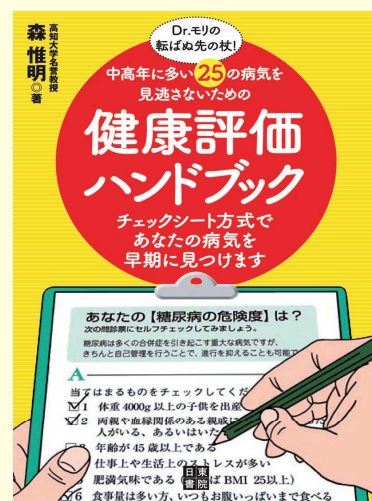
本書は、メールマガジン「セカンドライフ支援講座」をもとに「高齢者の身体的自立」について執筆したものです。本書では、「早期発見」「早期治療」の見地から、ちょっとした自覚症状をセルフチェック方式で分析し、中高年の方のかかりやすい25の病気の可能性を、読者自ら判断できる構成にしています。

自宅での健康管理で留められるのか、まずはお医者さまに相談するべきなのか、あるいは即、入院治療が必要なのか、等々、ドクター森こと、森惟明・高知大学名誉教授が適切にアドバイス！

健康的なセカンドライフをサポートする「転ばぬ先の杖」として、中高年の方の必読書です！

【掲載している25の病気】

- 生活習慣病 高血圧症／脂質異常症／糖尿病／動脈硬化症
- 脳神経系の病気 脳梗塞／脳出血／慢性硬膜下血腫／認知症／パーキンソン病／老人性うつ病
- 循環器系の病気 不整脈／狭心症と心筋梗塞
- 呼吸器系の病気 慢性閉塞性肺疾患（COPD）／肺がん／肺炎
- 消化器系の病気 胃がん／大腸がん／肝臓がん
- 泌尿器系の病気 慢性腎臓病（CKD）／前立腺肥大症
- 関節・骨の病気 骨粗しょう症／腰部脊柱管狭窄症／変形性膝関節症
- 目の病気 高齢者の目の病気
- 歯の病気 歯周病



新刊書

ボケないための幸福脳のつくり方



週刊メールマガジン「セカンドライフ支援講座」が500号を迎えたので、その集大成を東京図書出版にお願いして「ボケないための幸福脳のつくり方」と題する本を自費出版することにしました。

本書では、エビデンス（科学的根拠）や各種データに基づき、具体的な「幸福脳」のつくり方を示し、ボケずに、幸せな老後を送るための多くのヒントや処方箋を満載しました。

タイトルから想像して、単なる認知症予防のハウツー本として手にとって頂くと、拍子抜けしてしまうかもしれませんが、「認知症予防」それすなわち「生を全うするための術」なのだと考えて頂ければ幸いです。

本書は「より良い人生を送るための」幸福脳のつくり方であり、人生の養生訓ともいえるべき著書だと自負しております。

今後の超高齢社会では、幸せな老後を送るためには、長生きすることによるリスクの自己管理を行い、若い時から老後の計画と準備をすることが大切です。幸せな長寿を達成するための術を一言で言えば、「幸福脳」をつくることであります。

この著書は私の「人生の集大成」で、この想いが多くの方に伝わり、老後の生活に不安を抱えておられる方々の人生の指針となることを願ってやみません。

本書は、高知県では金高堂書店、またはアマゾンにてお求め頂けます。

森 惟明

日本診療情報管理学会学術大会

診療情報管理室 長谷部 博則

年に一度の専門分野の研修会である診療情報管理学会に今年も参加させて頂きました。

あいにくの小雨の中、羽田空港からつくば行きのバスに乗り込むと頭の中をデューク・エイセスの「筑波山麓合唱団」が流れ出す。コンダクターはがま蛙～と窓の外を眺めると荒川の対岸には低い雲に頭を突っ込んだ東京スカイツリーが霞んでいた。

第39回日本診療情報管理学会学術大会は茨城県のつくば国際会議場で開催され「医療連携と診療情報管理」をテーマに一般演題283、シンポジウム4、特別講演4、企業が協賛するランチョンセミナー5と今年も盛りだくさんの内容で聴取会場の選択に悩みます。

一般演題では高知県から2病院、4題の発表がありました。数日前に武田副院長がおっしゃられた「学会は聞くだけでなく発表してはどうか。協力しますよ。」の声が聞こえます。

やはりDPCに関連する演題が毎年増えています。DPCのコード作成に必要である、疾病へのコーディングの精度向上への取り組みや、DPCから得られた臨床指標の活用といったものが多く、近年DPC未導入病院の診療情報管理士が取り残されて行く感覚をもつことは否めません。

100床前後の中小病院からは診療録監査についての取り組みがいくつか報告されていましたが、監査方法の工夫に重点を置いた内容で、その結果をどのようにして反映させるかは、あまり聞かれませんでした。PDCAサイクルのA(改善、処置)がない状態は病院機能評価のためだけに作った資料と同じではないか、と批判的な思いはいつの間にか自分に向いていました。

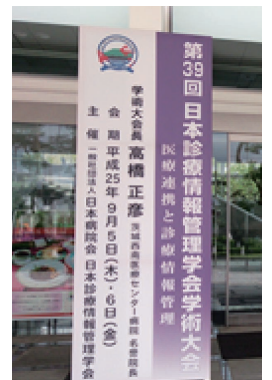


2日目には毎年同時開催される診療情報管理士生涯教育研修会がありました。この講演は日々の業務に役立つ内容が多く、興味をもって受講しました。今年は「診療情報管理士が知っておくべき諸書類の取り扱い」と題し、診療記録における法令上の定義や厚労省疑義解釈を例に挙げた説明など、分かりやすい内容でした。中には間違っして解釈していたものもあり、自分にとって有用な研修会となりました。

帰りには楽しみにしていた赤レンガ駅舎(東京駅丸の内側)を訪れることができました。アメリカ軍の東京大空襲により破壊・焼失した部分を応急復旧したままで60年余り建っていたそうです。そして高層ビル化案などの紆余曲折を経て本来の姿に戻すべく復元作業が始まったのは僅か5年前です。現在は駅前広場の整備を残しほぼ完成しており、高層ビル群の中の綺麗な建物の1つとなっていました。

高校時代、復元作業前の駅舎を見たときに感じた歴史と重圧感が残念ながらありませんでした。

平日に2日間も席を空け、職場にはご迷惑をおかけしましたが収穫ある有意義な時間を過ごさせて頂きました。



第15回日本褥瘡学会に参加して

病棟 看護師 筒井 憲幸

このたび、7月19日、20日と兵庫県神戸市で開かれた第15回日本褥瘡学会に参加してきました。褥瘡ということで医師や看護師以外にも、介護職など様々な職種の方が参加していたようでした。

会場の企業ブースでは寝具や除圧器具、栄養剤、ドレッシング剤といった様々な商品の紹介がされており、以前私が読んだ文献で除圧効果が高いと評価されていた除圧器具など、優れた製品も多々もありましたが、どれも非常にコストが高く、コストパフォーマンスの面から考えると利用するのは難しいと感じました。

学会のメインとなる発表の場では、褥瘡の現場の第一線で働く方の様々な講演を聞くことができました。

その中で特に私が興味深かったのは、特定の資格を持ち、更に研修を受けた看護師がデブリードマンなど特定の医療行為を行うことができる新たな制度のモデル事業についての講演です。

デブリードマンとは感染、壊死組織を除去することで他の組織への影響を防ぎ、治癒を促進する外科的処置のことです。褥瘡学会のガイドラインにおいて褥瘡の治療としてデブリードマンが推奨されています。この処置を多忙な医師に代わって看護師が行うことで、業務の効率化と患部の状態がデブリードマンに適したタイミングでの実施ができるなどのメリットがあげられていました。反面、看護師のアセスメント能力、処置技術、医師との信頼関係など、課題も多くあるとのことでした。

現在、モデル事業を実施している病院では、壊死組織のみを取り除くシャープデブリードマンを病棟、外来にて看護師が行っており、現時点では問題は発生しておらず、効率化により医師の1日の診察数の増加など、目に見えて効果が上がっているということでした。

当院の医師は外来、病棟だけでなく透析室での業務もあり、他の病院と比べて多忙であると常々感じていました。

当院の患者は透析患者や糖尿病を合併しているなど、デブリードマンを行うにはリスクが高い患者が多いですが、医師の負担を軽減し、提供する医療の質の向上を行なうことができるのではないかと感じました。



第62回日本医学検査学会に参加して

臨床検査技師 宮元 沙織

平成25年5月18日、19日に香川県にて「第62回日本医学検査学会」が開催されました。臨床検査の分野はとても幅広く演題も多いので、サポートホール高松、香川国際会議場・JRホテルクレメント高松、アルファあなぶきホール、高松市総合体育館と各会場に項目ごとに分かれ発表が行われました。四国で日本医学検査学会が開催される機会は少なく、貴重な経験となりました。

私は糖尿病や腎機能に関わること、尿沈渣の講演を中心に回りました。特に尿沈渣においては、『尿沈渣検査2000』改訂版の『尿沈渣検査2010』が発刊され、その教育講演が行われました。大病院から診療所、健診機関等それぞれ施設にあった検査結果の提示も必要ですが、標準化された全国共有の結果を出すことが今、臨床検査技師として求められています。臨床検査技師間の誤差がないよう指針内容を勉強していきたいと思います。

そしてこの度当院初の臨床検査技師より日本糖尿病療養指導士(CDEJ)の認定を取ることができました。臨床検査技師のCDEJとしての主な活動内容は、患者様への自己血糖測定器の説明や検査結果の見方についての説明ですが、CDEJ認定の臨床検査技師が当院検査室・同級生・知り合いの技師にもいなかったため全く分からない状況でした。今回、学会に参加して他院の取り組みや発表を聞くことができ大変参考になりました。受験で勉強した内容だけでなくこれからも向上心を持って知識を深め患者様、当院への貢献ができるよう努力していきたいと思います。

よさこい見物

みやびの里 武内 正子



土佐の夏といえばよさこい祭り。

8月10日、11日に入居者様をお連れしてイオン高知秦演舞場へ行ってきました。

会場は混みあっていましたが一般の皆様のご好意によりテント下の最前列で観覧することができました。

炎天下の中の外出ではありましたが会場ではうちわを扇いでアイスやかき氷を楽しみ、水分補給をし、冷たいおしぼりで顔を拭き保冷マクラを抱いて熱中症症状等なく観覧することができました。特に2日目は息つく暇なく踊り子隊が入ってきて迫力のある踊りに見入られていました。そんな中偶然にも島津病院関係者のチームの踊りを観る事ができ入居者様も踊り子に手を大きく振って声援にもかなり力が入っていました。それに応えるように踊り子さんも近くまで寄ってきて踊ってくださり大変喜ばれていました。

今後も利用者様に喜んでいただけるよう様々な行事や外出を計画してまいりますのでご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



グループホーム やすらぎ

☆よさこい交流館



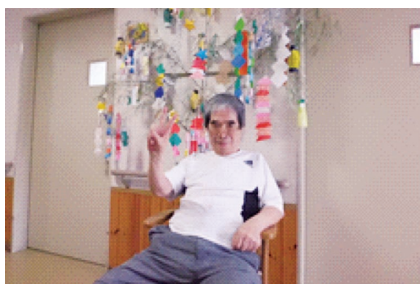
7/16 職員と一緒に出かけました。
よさこいの衣装や踊りを見て楽しみ、記念写真を撮りました。

☆よさこい祭り



「高知駅前演舞場」に出掛けました。
音楽に合わせて自然に体が動く様子が暑さも忘れて楽しみました。

☆七夕



職員と一緒に作った飾りと「願い事を書いた短冊」を笹に飾り記念写真を撮り美味しい「葛餅」を食べました。

☆ゲーム大会



6/20雨で外出が中止となり、ホーム内で「ゲーム大会」を行いました。

外来診察表

(平成25年10月1日現在)

午前(9:00~12:00)

診 察 科	月	火	水	木	金	土
内 科	三宅・大崎(多)	大崎(史)・大崎(多)	三宅・大崎(史)	伊東・岩崎(高知大学)	三宅・大崎(多)	三宅・伊東
外 科	島津	公家	武田	公家	島津	公家
整 形 外 科	兼松	島津(裕)	兼松	島津(裕)	島津(裕)	兼松
脳 外 科	森			森		
泌 尿 器 科 血 尿 外 来		伊東				井上(高知大学)
循 環 器 科		小田(予約制)	小田(予約制)			
消化器科(内視鏡)	公家	公家	公家	公家	公家	公家

午後(14:00~18:00)

診 察 科	月	火	水	木	金	土
内 科	三宅・伊東	大崎(史)・西家(賢)	三宅・西家(賢)	伊東・西家(賢)	三宅・伊東	
外 科	宗景(高知大学)	公家	北川(高知大学)	武田	公家	
整 形 外 科	兼松	兼松	兼松	島津(裕)	島津(裕)	
脳 外 科						
泌 尿 器 科 血 尿 外 来						
循 環 器 科		小田(心エコー外来予約制) 第1・第3のみ	小田(予約制)			
放 射 線 科					久保田(高知大学) (所見のみ)	
消化器科(内視鏡)						

- 三宅院長(内科)は午後から不在の場合がありますので、事前にお電話でご確認をお願いします。
- 担当医が不在の場合がありますので、事前にお電話でご確認をお願いします。
- 休診日は土曜の午後・日曜・祝祭日・年末年始です。

患者様の権利

- 一、個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- 二、良質な医療を平等に受ける権利があります。
- 三、個人のプライバシーが守られる権利および私的なことに干渉されない権利があります。
- 四、自分が受ける治療や検査の効果や危険性、他の治療法の有無などについて、わかりやすい説明を理解できるまで受ける権利があります。
- 五、自分の治療計画を立てる過程に参加し、自分の意思を表明し、自ら決定する権利があります。
- 六、自分が受けている医療について、知る権利があります。
- 七、患者様自らが、医療従事者と共に力をあわせて、これらの権利を守り発展させる責任があります。

病院理念

「病む人への思いやりをもつて、安全で安心のできる高度な医療を提供します。」

医療方針

- 一、心ある医療を介護サービスと連携して提供し、地域社会に貢献する。
- 一、生きることへの共感、病む人への思いやりを持って医療に従事する。
- 一、当院の専門としている医療部門においては、医療レベルの向上に努力し、先進的医療を提供する。



診療時間

月～金 9:00～18:00
土 9:00～12:00
日・祝祭日 休診

診療科目

・外科
・リウマチ科
・糖尿病内科
・消化器外科・内科
・脳神経外科
・内科
・泌尿器科
・腎臓内科
・肛門外科
・皮膚科
・人工透析内科
・整形外科
・循環器内科
・リハビリテーション科

関連医療・介護機関

医療法人 仁栄会 島津クリニック	〒785-0013 高知県須崎市西古市町3番15号	TEL.0889-43-0003
医療法人 仁栄会 島津クリニック比島	〒780-0066 高知市比島町2丁目10番31号	TEL.088-826-6230
医療法人 島津会 幡多病院	〒787-0013 高知県四万十市右山天神町10番12号	TEL.0880-34-6211
医療法人 成仁会 快聖クリニック	〒780-8050 高知市鴨部1085番地1	TEL.088-850-0038
複合介護施設 つくしの里	〒780-8050 高知市鴨部1079番地1	TEL.088-850-0083
グループホーム やすらぎ	〒780-0065 高知市塩田町19番26号	TEL.088-875-3500
グループホーム かがやき	〒787-0014 高知県四万十市駅前町5番20号	TEL.0880-31-0607
小規模多機能型居宅介護 ひじま	〒780-0066 高知市比島町2丁目10番31号	TEL.088-826-6232
高齢者専用賃貸住宅 ひじま	〒780-0066 高知市比島町2丁目10番31号	TEL.088-826-6233
特定施設 みやびの里	〒780-0066 高知市比島町4丁目6番9号	TEL.088-822-8855
大川筋診療所	〒787-1220 高知県四万十市川登1106番地4	TEL.0880-38-2017
小規模多機能型居宅介護 おおがた	〒789-1931 高知県幡多郡黒潮町入野3017番地2号	TEL.0880-43-1023
高齢者専用賃貸住宅 くろしお	〒789-1931 高知県幡多郡黒潮町入野3017番地2号	TEL.0880-43-1023



医療法人 仁栄会

島津病院

院長 三宅 晋

〒780-0066 高知市比島町4丁目6番22号

TEL 088-823-2285 FAX 088-824-2363

